

おかげさまで設立5周年

2006年も映画はおもしろかった / 例会午前の部は終了しました

新年おめでとうございます

昨年の加古川シネマクラブを振り返ると一進一退といったところでした。

まず、うまくいったことは、当前のことですが、例会として確実に映画鑑賞会を継続していることです。作品の質も維持できていると思います。

そして、4周年記念事業として、昨年に引き続き、加古川市民会館中ホールで一般を対象に、上映会を行うことができました。上映した「二人日和」の主演男優栗塚旭さんをゲストとして招待するなど盛会でした。

また、市内で開催される映画上映会への協力は、昨年にも増して行われています。内容は、チラシの配布など宣伝活動や、当日の協力員としての人的協力です。

次に、残念だったことです。

まず、会員数の目標を一昨年末の199人と比べ、41人増の240人としていたのですが、結果は6人減の193人でした。

次に、映画鑑賞の機会を多くの人に広げて会員数を増やそうと、3月から午前の部を試行しました。ある程度の会員には好評であったのですが、運営委員への負担と経費の負担の大きさと比べ、会員数の増加につながらず、11月例会をもって午前の部の試行は終了することとなりました。

今年は、必ず会員を200人にすることを神様に誓っています。また、昨年のように補助金を受けられるようであれば、映画上映会も行うことも考えます。

また、運営委員を増やして、例会や上映会の受付作業をはじめ作業の分担を進めたいと考えています。

会員の皆さんには、映画好きな知り合いがいれば、お声がけいただきますようお願いいたします。また、運営委員会は、定例の作業をしながらの世間話しをする井戸端会議のようなものです。時間のある方は、電話やホームページで日時を確認して、遊びに来てください。

例会のお知らせ

名称 / 第28回例会「胡同(フートン)のひまわり」

日時 / 2007年1月25日(木) PM1:50~、PM4:10

~、PM6:30~(午前の部の試行は終了しました)

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しく下さい。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

タイトル / 胡同(フートン)のひまわり

監督 / チャン・ヤン

出演 / ジョアン・チェン、スン・ハイイン、リュウ・ツー・フォン、チャン・ファン、ガオ・ゲー、ワン・ハイディ

データ / 2005年、中国、2時間12分、35mm、トロント映画祭・プサン映画祭正式出品作品、サンセバスチャン映画祭最優秀監督作品賞・最優秀撮影賞

ジャンル / ドラマ、ヒューマン



解説 / 文化大革命によって断たれた画家の夢を息子に託す父親と、父親に反発しながらも同じ道を歩み始める息子の30年にわたる画家親子の愛と葛藤の日々を描く感動ドラマ。1976年、北京の下町。文化大革命で強制労働にかり出されていた父親が6年ぶりに帰ってくる。画家の夢を奪われた父親は、9歳の息子チャンヤンにその夢を託し、英才教育をほどこしていく。それまで母と2人で気ままな毎日を送っていたチャンヤンは、突然現われたそんな父親に反発を強める。

監督は、『こころの湯』などで世界的に注目される中国の俊英チャン・ヤン。シャンヤン役は3世代の異なる新鋭たちが演じ、母親役を『ラスト・エンペラー』のジョアン・チェン、父親役は実力俳優ス・ハイインが好演。急速な近代化の影で消えゆく胡同(フートン)で営まれる懐かしくも温かな心の交流が胸を打つ。

2006年も映画はおもしろかった

12月12日に平岡町中野の民生東加古川店で、年末恒例の忘年会を開催しました。加古川シネマクラブの1年を振り返った後、それぞれの近況や、2006年の映画ランキングを話題に楽しい時間を過ごしました。映画ランキングは、日本映画が豊作のため、数が増えてしまい、邦画と洋画でベストテンとしました。料理を食べるだけでお酒をほとんど飲まない忘年会で、参加者が選んだ2006年の映画ランキングを掲載します。

【邦画の部】

1位「武士の一分」(監督/山田洋次、主演/木村拓哉)、2位「蟻の兵隊」(監督/池谷薫、主演/奥村和一)、3位「嫌われ松子の一生」(監督/中島哲也、主演/中谷美紀)、4位「フラガール」(監督/李相日、主演/松雪泰子)、5位「かもめ食堂」(監督/荻上直子、主演/小林聡美)、6位「寝ずの番」(監督/マキノ雅彦、主演/中井貴一)、7位「恋するトマト」(監督/南部英夫、主演/大地康雄)、8位「博士の愛した数式」(監督/小林堯史、主演/寺尾聰)、9位「明日の記憶」(監督/堤幸彦、主演/渡辺謙)、10位「DEATH NOTE デスノート the Last name」(監督/金子修介、主演/藤原竜也)

【洋画の部】

1位「ホテルルワンダ」(イギリス/イタリア/南アフリカ、監督/テリージョージ、主演/ドン・チードル)、2位「白バラの祈り ゴッティン、最後の日々」(ドイツ、監督/マルク・ローテムント、主演/ユリア・エンチ)、3位「クラッシュ」(アメリカ、監督/ポール・ハギス、主演/サンドラ・ブロック)、4位「クライング・フィスト」(韓国、監督/リュ・スンワン、主演/チェ・ミンスク)、5位「トンマッコルへようこそ」(韓国、監督/パク・クァンヒョン、主演/シン・ハギャン)、6位「ナイロビの蜂」(イギリス、監督/フェルナンド・メイレス、主演/レイフ・ファインズ)、7位「父親たちの星条旗」(アメリカ、監督/クリント・イーストウッド、主演/ライアン・フィリップ)、8位「イノセント・ボイス 12歳の戦場」(メキシコ、監督/ルイス・マンドーキ、主演/カルロス・パディージャ)、9位「明日へのチ

ケット」(イタリア/イギリス、監督/エルマンノ・オルミ/アッバス・キアロスタミ/ケン・ローチ、主演/カルロ・デッレ・ピアネ)、10位「パイレーツ・オブ・カリビアン/デッドマンズ・チェスト」(アメリカ、監督/ゴア・ヴァービンスキー、主演/ジョニー・デップ)、10位「ブラダを着た悪魔」(アメリカ、監督/デヴィッド・フランケル、主演/メリル・ストリープ)

1位から10位の順位は、声大きい人の推薦した作品とみんながうなずいた作品が上位にきています。参加者の多くは、自分が推薦するものが、ベストテンに入れば満足してしまい、見ていない作品も多いので、順位をあまり気にしていませんでした。それぞれのベストテンは違っても、並べてみると映画豊作の年でした。

例会午前の部は終了

例会の開始時間については、新しい会員の入会を促進するために、3月例会から「AM10:30~」を試行しました。しかし、負担と比べ効果が少なかったため、1月例会からは、試行している午前の部を取りやめ、PM2:00~、PM4:20~、PM6:40~を基本とする3回の状態に戻すことにしましたのでお知らせします。

これにより、午前の部しか参加できない方については誠に申し訳ありませんが、会の活動継続のため、やむを得ない判断ですので、どうぞご理解ください。

前回例会の報告

11月28日の例会では、昭和30年代から40年代にかけての日本映画全盛の時代を背景に、映画館で幕間(まくあい)芸人として生きた一人の男とその家族の数奇な運命を描くノスタルジックなヒューマンドラマ「カーテンコール」を鑑賞しました。参加会員143人。

寄せられた感想は、「良かった」というものが多く、上映当時はあまり話題に上がらなかった作品だっただけに、作品選定の重要性も感じました。次回の例会選定会議に向けて意見を寄せてください。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 193人(11月28日現在)